



謡物能楽の形式で行われる古式ゆかしい農耕儀礼。

10:30頃、奈良阪到着。11:00頃、転害門前にて休憩。

https://kitamachi-guidebook.webnode.jp/











OU812

Oh you ate TOFU

豆腐田楽弁当800円

カツ丼

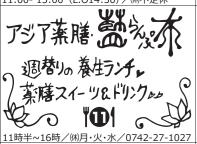
へはお散歩コース。地元の新鮮野菜

たっぷりの美味しい朝食と隠れ家の

ような居心地の良さ。とっておきの

「なら時間」をお愉しみください。

小さなホテル



お知らせは Instagram@pancbakery

ושו





奈良きたまち食堂 TO IL SORRISO 🙀 ĎEĽLÁ FÁMIGĽIÁ







きたまち百四拾字



動物ざっかのお店 / パン / コーヒー





TranQuilo COFFEE · HOTDOG · CURRY

8 25

9:30~19時/㈱水/0742-27-2711



ヤチムン 琉球ガラスなどの器

https://www.instagram.com/hakuginhi

物作りのわくわくやひらめきのある場所

CAFE

FREE Wi-Fi TakeOut

くなり次第終了だからできるだけ早めに行っとかないとネ!どれもおいしそ

保橋の交差点の向かいに何やらお店が…輸入食料品店のSAHHA(サッハ)さんだって。チュニ ジアの食べ物を売っている珍しいお店。馴染みのない食べ物でもチュニジア人のお兄さんが はいつも女性客でいっぱい!●というわけで、さらに北へ。お昼ごはんはきたまち豆腐田楽 OU812さんの田楽定食。大豆づくしの優しい定食、メインはもちろん豆腐田楽。焼けたお味噌 匂いがたまらないヨ!ごはんの代わりに豆腐茶漬けを頼むのが糖質を 気にしてる女性に人気なんだって!●というわけで、次はどこに行こうかな?と

りあえず隣のプリトミさんで食後の休憩だネ!今回紹介した他にも素敵なお 店があるきたまちの端っこ、ゆっくり散策してみて。ではまたね、バイバ〜イ♪



50

ピアノが写単けるクロワッサンサンドのお店 (afe Soi nox yo



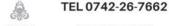
· 日 11:00~18:00/(株)月~金



第9回 からあげグランプリ 金賞受賞!



1時~15時/㈱火、第1・2火・水曜/0742-23-652



ce magasin カジュアルなワイン食堂

お好きな時間にどうぞ!

ランチ 11時半~16時ラストオーダー /カフェ 終日 ディナー 17時~22時ラストオーダー・24時CLOS Instagram・Facebookで情報更新中

テイクアウトもやっています(要予約)

Cozy Cafe

11:30~20:00/(株)不定/070-8428-0552 Pleased to meet me





Katatsur

なべかつ

11:30~14:30(LO.)·18:00~21:00(LO.)/休月/0742-27-1477

21 43

写仏体験。

散華美術館



11:30~17時/㈱月火·不定休/0742-26-1868

ではただひたすら感謝で手を合わせた。これにてきたまち長屋暮らしのつ れづれは筆を置く。 落ち着いた雰囲気の英国風カフェ 9

この贅沢な長屋暮らし。隙間風に乗って聴こえてくるのは東大寺奈良太

郎の響き。数年に一度は手向山さんの転害会の当番町奉仕。初宮さんでの

市をひやかし、聖武天皇陵あたりを散歩する。最後の町内の地蔵尊まつり

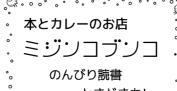
3本の鍵を大家さんの手に。小生の18年間のきたまち暮らし

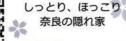
は幕を閉じた。越してはじめての驚きは長屋のほとんどのお宅

や表の「玄米菜食 菜一輪」と番地が同じことであった。通信販

売の住所の最後に「路地突き当たり奥右」と記入し宅配業者に

感謝された。いつしか番地と名前だけで届くようになった。













こまつカイロプラクティック院

技による施術にて約60分

图图

139

「今日は、からだにいい 田舎料理 ワインの王子様 もの食べたいなあ。」 Wine & Belgian beer そんな気持ちになって 奈良県唯一のベルギービール角打ちの店 初級者何けのワインサロンも毎月開催 お気軽にお問い合わせ下さい。 ときどきカレー 0742-25-3338 (木曜定休) スコーン、紅茶で優雅なひと時をお過ごしください。 しっとり、ほっこり

各戸からちゃぶ台を出して持ち寄り路地宴会。台風では路地入口に土嚢を積み、 お互いを気に掛ける。地域猫もいれば屋根裏にはイタチー家が居候。転居転入も たびたび。遠い国からやってきた隣人もいくたりかおられた。何人かの人生の先

輩のお見送りもあった。そしてこの春は令和生まれの赤子も迎えた。